



ダンス作品作りを体験しよう

スクランブル・ダンスプロジェクト

障がいのある人もない人も一緒に

みんなは“そこ”にいてだけで作品なんだよ
大野慶人

開催日時

2018年10月21日(日) 11:00~12:30
(10:30より受付)

会場 三の丸小学校 ふれあいホール(2階)

参加費 100円(保険料)

対象 小学3年生以上
障がいを持つ方、その保護者
このような取り組みに興味がある方

定員 30名程度(申込先着順)

申込方法

10月12日(金)までにEメールにて、件名に「スクランブルダンス申込」、本文に氏名、年齢、住所、電話番号、メールアドレス、参加動機をご記入の上、送信ください。

申込先 NPO法人アール・ド・ヴィーヴル
info@artdevivre-odawara.jp

NPO法人アール・ド・ヴィーヴル <http://artdevivre-odawara.jp>

障がいを持つ人に活動の場を提供する団体。アートディレクターとして障がい者のアート活動に多く携わってきた優れた指導者のもと創作活動を行う。アートワークショップのほか、織り、陶芸、料理、英会話、親子ヨガなど、障がいを持つ人のためのさまざまなプログラムを定期開催。2016年4月、小田原市久野に就労継続支援B型事業所をオープン。アール・ド・ヴィーヴルという名称は「自分らしく生きる」という意味のフランス語に由来する。

障がいのある人もない人も、互いにその人らしさを認めあいながら、共にダンスを創る「スクランブル・ダンスプロジェクト」。

舞踏家の松岡大さんを講師にお迎えして、ダンスワークショップを行います。周りの空気や音を感じて、身体全体で表現してみましょう。ダンス経験がない人も大歓迎です。

講師 松岡大 Dai Matsuoka

上智大学卒業。桑沢デザイン研究所卒業。2005年より山海塾に舞踏手として参加。「金柑少年」「とばり」「うむすな」「めぐり」などの主要作品に出演中。2011年より、街を歩きながらミュージシャンとダンサーによるライブを鑑賞するウォーキング形式のパフォーマンスイベント「LAND FES」を主催。障害の有無に関わらず子供たちとアーティストがともに創りあげるインクルーシブワークショップ「音ととつと」主催。2016年12月には、故・蜷川幸雄氏の意思を引き継いだ、高齢者による世界最大級の群集劇「万人のゴールドシアター 2016」にてムーヴメント演出のディレクションを務めるなど、多方面で活躍。



監修 大野慶人 Yoshito Ohno

1938年東京に生まれる。1959年土方巽の「禁色」で少年役を演ずる。60年代の暗黒舞踏派公演に参画。69年初リサイタル後に舞台活動を中断、1985年「死海」で大野一雄と共演、カムバックした。1986年以降大野一雄の全作品を演出。近作にヴァッパタール舞踊団ダンサーとの共演「たしかな朝」(2010)、音楽家アントニーとの「Antony & Ohnos」(2010)。ソロ作品「花と鳥」(2013)はヨーロッパ(2014)、ブラジル(2015)を巡演。著書に『大野一雄 魂の糧』(フィルムアート社)、『舞踏という生き方』(かんだ)。



主催・お問合せ 小田原市役所文化政策課 TEL0465-33-1706/FAX0465-33-1526(平日9:00-17:00)

共催 NPO法人アール・ド・ヴィーヴル 協力 大野一雄舞踏研究所

小田原市文化創造活動担い手育成事業

